

シティセールスレポート

（令和元年度分）



スマイルシティ山陽小野田

令和2年（2020年）8月

山陽小野田市

目次

I	趣旨	1
II	令和元年度の取組状況	1
	【推進体制の整備】	
	1. シティセールス推進指針の改定	1
	2. シティセールス推進本部及びシティセールス推進協議会の開催	1
	3. シビックプライドアドバイザーの活用	3
	4. 職員への普及啓発（研修会の開催）	3
	【魅力の発信】	
	1. 広告、キャンペーンの実施	4
	① JR厚狭駅にPRポスターを掲示	4
	② 山口宇部空港を活用したPR	4
	③ JR新山口駅を活用したPR	4
	2. ウェブサイト、映像、印刷物による普及・啓発	4
	① ガイドブックの作成	4
	② 観光プロモーション事業	5
	③ アンケート等に基づく広報戦略策定	5
	④ 動画を活用した情報発信の開始	6
	⑤ ホームページ、SNSを活用した情報発信の活用促進	7
	3. ロゴマーク、イメージカラーの活用	7
	・ ロゴマーク、イメージカラーの活用（市役所分）	8
	・ ロゴマークの活用（市役所以外使用 承認分）	13
	4. ワークショップ、市民との意見交換会等	15
	① みんな de スマイルトーク	15
	② スマイルランチトーク	15
	③ 若者会議	16
	5. フード、グッズ等の作成及び活用	17
	① PRロゴマーク缶バッジ	17
	② PRロゴマークピンバッジ	17
	③ 職員用ネックストラップ	17
	④ 職員用名刺	17
	⑤ のぼり旗	17
	⑥ 記者会見用バックボード	17

・ P R ロゴマークに関連する備品の活用	17
6. フェスティバル、イベント、観光事業等（例示）	18
①ハロウィンイベントの開催（スマイルハロウィンさんようおのだ 2019）	18
②レノファ山口を契機とする取組	19
③パラサイクリングを契機とする取組	19
④観光事業	21
⑤わがまち魅力発信隊	21
7. 市役所によるその他の取組	22
・ 報道機関への情報提供	23

【経営資源の確保】

1. U J I ターン等定住・移住策の実施	24
①転入奨励金の交付	24
②U J I ターン推進・支援	24
2. 企業誘致、創業支援の実施	25
①企業誘致	25
②創業応援金の交付	25
③創業支援（個別相談会、支援セミナー等の実施）	25
④起業家支援資金の融資	25
3. サポート寄附金制度の運用	25

【本市のファンによるまちづくりへの参画を円滑にする仕組み】

1. スマイルプランナー登録者の募集	26
2. スマイルプランナー登録者の活動支援	26
3. スペシャル・スマイルプランナーの登録及び活動	27

Ⅲ 取組の成果・効果

1. 指標の達成状況	28
2. 成果・効果	28
3. 課題	29

I 趣旨

平成30年5月18日に策定した「シティセールス推進指針」に沿った各部局の年度ごとの取組状況の把握及び検証を踏まえ、シティセールス推進における成果や課題、対応策等を取りまとめ、公表することにより、職員及び市民等のシティセールスに関する理解を深めるとともに、協創によるシティセールスの取組をより円滑・活発にすることを目的として、「シティセールスレポート」を作成する。

II 令和元年度の取組状況

【推進体制の整備】

1. シティセールス推進指針の改定

「第二次山陽小野田市総合計画」で設定した本市の将来都市像とキャッチフレーズ「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」の実現に向けて、シティセールスを戦略的・効果的に推進するための指針となる「山陽小野田市シティセールス推進指針」を、平成30年度の取り組み状況や今後の取組方針等を踏まえ、より具体的な内容を記載したものに改定した。（令和元年6月27日付け一次改定）

2. シティセールス推進本部及びシティセールス推進協議会の開催

平成30年度に引き続き、シティセールス推進本部及びシティセールス推進協議会を開催。シティセールス推進指針に基づく諸施策を、全庁を挙げて戦略的かつ効果的に推進するため、市長を本部長とするシティセールス推進本部を3回開催した。また、シティセールスに関する識見を有する市民等から意見を聴取するため、16団体で構成するシティセールス推進協議会を1回開催した。

・シティセールス推進本部の開催

回数	開催年月日	主な議題
第1回	平成31年 4月15日	① スマイルプランナー登録制度について ② 地域資源の掘り起こしから発信までの展開策について ③ 「サイン計画」策定について
第2回	令和 元年 7月 5日	① シティセールス推進指針の改定について ② シティセールスレポートの作成について ③ スマイルプランナー登録制度について ④ 「サイン計画」について
第3回	令和 2年 2月14日	① スマイルプランナー登録制度の運用状況について ② 東京2020オリンピック・パラリンピックへ向けて ③ 各種PR媒体の作成状況について ④ 山口ゆめ回廊博覧会の開催について ⑤ 広報に関するアンケートの結果と今後の広報戦略について ⑥ 「サイン計画」の取扱いについて

・シティセールス推進協議会の開催

回数	開催年月日	主な議題
第1回	令和 元年 7月31日	① シティセールス推進指針の改定について ② シティセールスレポートの作成について ③ 令和元年度事業について ④ 今後のシティセールス活動について（意見聴取）
第2回	令和 2年 3月17日 ※新型コロナウイルス感染症を考慮し中止	（資料送付のみ） ①委員名簿 ②令和2年度シティセールス関連事業

3. シビックプライドアドバイザーの活用

シティセールス推進指針に基づく諸施策を戦略的かつ効果的に推進する上で、シビックプライド等に関し、専門的視点から意見や助言を得るため、伊藤香織東京理科大学教授にシビックプライドアドバイザーを委嘱した。

〈実績 2 回〉

- ・山陽小野田市シティセールス推進指針一次改定に係る指導助言
- ・山陽小野田市観光振興プラン策定に係る指導助言

4. 職員への普及啓発（研修会の開催）

SNS の活用促進を図るため、平成 31 年 3 月に策定した「山陽小野田市ソーシャルメディア・ガイドライン」の解説と、同じく平成 31 年 3 月に市ホームページのリニューアルを実施したことを機に、改めてホームページの作成に関する留意点等を説明することを目的に、職員向け研修会を開催。対象は、所属長とホームページ実務担当者として実施した。



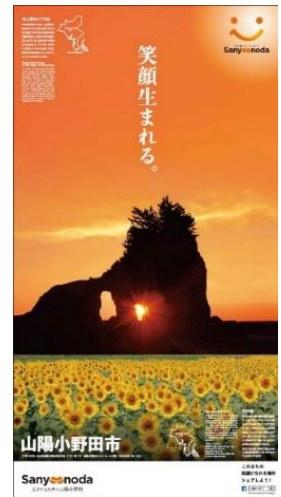
研修会の名称	開催年月日	開催時間	参加者数
職員向け研修会	令和元年 5 月 28 日	13 : 00 ~ 14 : 30	55 人
		15 : 00 ~ 16 : 30	59 人

【魅力の発信】

1. 広告、キャンペーンの実施

① J R厚狭駅に P Rポスターを掲示

J R厚狭駅新幹線口の構内に、市を P R する大型ポスター（縦 148 cm×横 80 cm）を 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）掲示した。ロゴマークと「笑顔生まれる。」というキャッチコピーを付けて、市のイメージカラー「オレンジ色」をコンセプトに制作。夕焼けに包まれた本山岬公園のくぐり岩と、埴生の観光農園「花の海」で咲き乱れるひまわり畑をデザイン。



P Rポスター

② 山口宇部空港を活用した P R

山口宇部空港の 2 階出発ロビーの電照板に本市の P R 写真を掲出したほか、横断幕を 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）掲出した。また、1 階到着ロビーの P R コーナーにポスターやチラシの設置、観光プロモーション動画を配信した。



横断幕

③ J R新山口駅を活用した P R

J R新山口駅構内（在来線側自由通路及び新幹線柵外コンコース）にあるデジタルサイネージに本市の観光素材やイベント情報を掲出したほか、観光プロモーション動画を配信した。

2. ウェブサイト、映像、印刷物による普及・啓発

① ガイドブックの作成

本市の魅力や住みよさを市内外に P R するため、ガイドブック「SO smile」を作成した。A5 版 26 ページのフルカラーで、市内の見どころや住みよさを紹介。東京都で開催された移住フェアで配付したほか、市役所等の公共施設に設置。市ホームページにも掲載している。



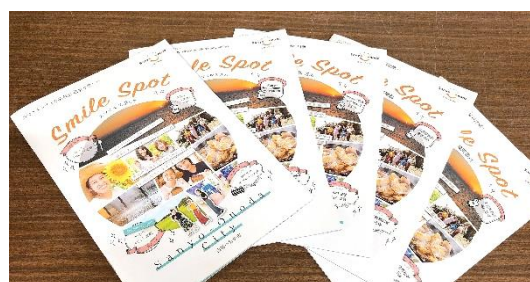
山陽小野田市ガイドブック

②観光プロモーション事業

本市の認知度アップや交流人口の増加を目的とした「山陽小野田市観光プロモーション動画」を制作。カメラ好きの女性（カメラガールズ）が市内各地で撮影旅行をしている様子をストーリー化し、長編動画（約4分）1本、15秒動画5本（風景編、グルメ編、街並み編、窯業編、旅の総集編）を編集し、YouTube等で配信した。また、観光パンフレット「smile spot（スマイルスポット）」を日本語、英語、韓国語、繁体字、簡体字で作成。メインターゲットである30～40代の女性に対して本市の観光素材の良さを伝えるため、写真映えスポットやおすすめモデルコース等を掲載した。パンフレットは市役所等の公共施設に設置。市ホームページにも掲載している。



観光プロモーション動画の一コマ



観光パンフレット
「smile spot（スマイルスポット）」

山陽小野田市観光プロモーション動画配信方法
YouTube（市公式動画チャンネルに投稿）
市役所、厚狭地区複合施設、市民病院及びスマイルキッズのモニター
山口宇部空港及びJR新山口駅のモニター
山陽オートレース場の大型スクリーン及び本場開催時のCS放送
山口東京理科大学（行事等の都度）
JR厚狭駅（在来線口、新幹線口）のモニター
おのだサンパークのモニター

③アンケート等に基づく広報戦略策定

情報発信に伴う広報効果を測る方法として定点観測となる「市民アンケート調査」（対象1,200人：回答数370人）を令和元年8月に実施した。調査結果等を踏まえて、広報紙の月2回発行を令和3年度まで継続することとした。また、本市の広報における現状や課題、目指す姿を明らかにし、全庁を挙げたシティセールスの強化に向けて、今後、取り組むべき広報活動の方向性を示すための指針となる「山陽小野田市広報活動指針」を令和2年3月に策定。広報媒体の特徴を踏まえたターゲットの設定等を定めた。

④動画を活用した情報発信の開始

わかりやすく視覚に訴えることが可能な動画に着目し、山陽小野田市公式動画チャンネルを新たに開設。YouTube上で、14本の動画を配信した。

タイトル	配信開始日	再生回数
レノファに会えるまち山陽小野田市PR動画	平成31年4月15日	1,381
くぐり岩 山陽小野田市PR動画	令和元年6月12日	939
奇岩で祈願！? (2019年5月11日 広島マツダスタジアム)	令和元年6月12日	323
山口ゆめ花博「山陽小野田市の日」で放映した市PR動画	令和元年6月26日	285
山口県山陽小野田市観光PR動画【グルメ編】	令和2年1月28日	384
山口県山陽小野田市観光PR動画【風景編】	令和2年1月28日	216
山口県山陽小野田市観光PR動画【街並み編】	令和2年1月29日	245
山口県山陽小野田市観光PR動画【窯業編】	令和2年1月29日	247
山口県山陽小野田市観光PR動画【旅の総集編】	令和2年1月29日	358
山口県山陽小野田市観光PR動画【長編】	令和2年1月29日	1,078
スマイルシティ（山陽小野田市応援ソング）	令和2年3月18日	87
レノファ山口 FC 池上丈二主将から山陽小野田市のみなさんへ【撮影日2020年3月19日】	令和2年3月20日	389
レノファ山口 FC 霜田正浩監督から山陽小野田市のみなさんへ【撮影日2020年3月19日】	令和2年3月21日	443
山口県山陽小野田市 桜 SPOT 8 選【桜に会いに行こう】	令和2年3月21日	255

※再生回数は令和2年3月31日時点



市内の桜を紹介した動画「桜 SPOT 8 選」



観光プロモーション動画「グルメ編」

⑤ホームページ、SNSを活用した情報発信の活用促進

平成31年3月末に、本市の魅力を効果的に発信することを目的に、ホームページのデザイン等をリニューアルした。スマートフォンに対応した画面設計や、利用者が検索しやすいサイト構成にリニューアルした結果、閲覧数は前年度（714,352件）と比較して大きく増加した。

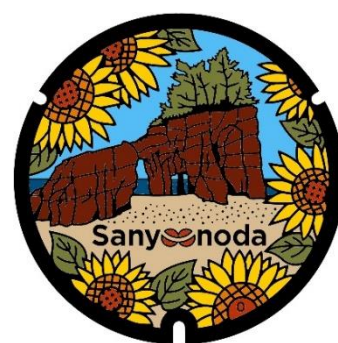
また、平成31年3月に策定した「山陽小野田市ソーシャルメディア・ガイドライン」を改定。市が撮影できない情報をシェアして、より多くの人に周知ができるように、市公式アカウントの外の投稿のシェア及び「いいね」機能が行えるようにした。

〈令和元年度実績〉

情報発信媒体	公開数	閲覧数
山陽小野田市公式ホームページ	3,098	838,627
山陽小野田市公式フェイスブック	527	328,722
山陽小野田市公式動画チャンネル	14	6,630
合計	3,639	1,173,979


3. ロゴマーク、イメージカラーの活用


平成30年度に引き続き、シティセールス課及び各部署にて取り組んだ。新たに、公用車の車体塗装、ご当地ナンバープレート、デザインマンホール等で活用した。





・ロゴマーク、イメージカラーの活用（市役所分）

取組	具体的な内容	担当課
<p>チラシ、パンフレット、ポスター、封筒等の印刷物にロゴマークを使用</p> 	納税通知書用封筒（55,000部）	税務課
	転入奨励金チラシ	企画政策課
	予算概要の説明資料（170部）	財政課
	決算に係る実績報告書資料（170部）	
	シティセールスガイドブック 「SO smile」の裏表紙やページ内 （4,000部）	シティセールス課
	広報「さんようおのだ」の表紙	
	ハロウィンイベントのロゴマーク（4種） を新たに作成	
	観光パンフレット 「smile spot（スマイルスポット）」の 表紙（30,000部）	
	観光マップの表紙（10,000部）	
	「市観光振興プラン」の表紙	
	市主催文化事業「山響サマーコンサート」 「さんようおのだ演芸会」のチラシ （3,500部）	
	「人権講座」のチラシ（600部）	市民生活課
	「ヒューマンフェスタさんようおのだ」 のチラシ、当日配布資料用の封筒 （1,600部）	
	「女と男の一行詩」作品募集のチラシ、 ポスター（1,700部）、 協賛企業募集用チラシ（20部）、 カレンダー（2,000部）	
	交通安全関連事業の会議資料（120部）	
「空き家セミナー」のチラシ（200部）		
出前講座メニューの全ページ		
「老朽危険空家等除却促進事業補助金交 付制度」のリーフレット（70部）		
「親と子の水辺の教室」の配布資料	環境課（環境調査	

 <p>介護保険 申請からサービス利用まで 高齢者福祉サービスについて (2020年度版)</p> <p>山陽小野田市 福祉部 高齢福祉課 [介護保険課] 0854-821-1111 [高齢者福祉課] 0854-821-1111 FAX: 0854-821-1111</p> <p>Sanyo Onoda</p>	(67部)	センター)
	介護保険パンフレット (2,000部)	高齢福祉課
	介護保険納入通知書用封筒 (18,000部)	
	認知症ケアパス (1,000部)	
	「在宅医療・介護普及啓発講演会」のチラシ (8,000部)、ポスター (200部)	
	「認知症普及啓発イベント」のチラシ (8,600部)、ポスター (250部)	
	認知症カフェのチラシ (1,000部)	
	介護予防ガイドブック (1,200部)	
	「精神保健福祉講座」の資料 (110部)	障害福祉課
	障がい者週間にて展示をした説明文	子育て支援課
	子ども・子育て協議会の資料	
	子ども・子育て支援事業計画の表紙	子育て支援課 健康増進課
	出前講座の資料	
	国民健康保険被保険者証 (20,000部)	国保年金課
	封筒の料金後納郵便 (71,000部)	
	「こくほシェイプアップジム」受講生募集のチラシ (500部)	
	食育推進計画書及び概要版 (1,450部)	健康増進課
	健康増進計画書及び概要版 (850部)	
	妊産婦健康診査受診補助券、乳児健康診査受診補助券、妊娠届時に渡す封筒、出生届時に渡す封筒 (各 400部)	
	母子保健推進協議会の資料 (100部)、食生活改善推進協議会の総会資料 (200部)	
やまぐち健康マイレージチャレンジシート (20,190部)		
健康推進員養成講座参加者募集のチラシ、ポスター (1,080部)		
住まいる奨励金協力店一覧のチラシ (500部)	商工労働課	

	協力店ステッカー (262 部)	
	「ミッドナイトレース照明施設完成内覧会」の配布資料	公営競技事務所
	本場開催レースの出走表	
	都市計画マスタープランの本編 (300 部)	都市計画課
	デザインマンホールのイラストを印字した封筒	下水道課
	地域おこし協力隊募集のチラシ	地域活性化室
	地域おこし協力隊員の名刺	
	かがく博覧会のパンフレット (2,500 部)	教育総務課
	施設案内用のリーフレット	学校教育課 (学校給食センター)
	春・秋の「花壇コンクール」表彰式の案内文書 ※参加者にはロゴマークを使用した園芸用ラベルを配布	社会教育課
	企画展 「古写真の情報をください 2019」 「笠井順八のまちづくり」 「発掘された山口巡回展」 「古文書あれこれ！」のチラシ (各 3,000 部)	社会教育課 (歴史民俗資料館)
	就職説明会のブース内に掲出したポスター (2 部)	病院局総務課
	病院広報紙 (毎月発行) の表紙	
「令和元年度山口県各市監査委員事務局職員連絡協議会」の資料 (30 部)	監査委員事務局	
記念品等のグッズにロゴマークを使用	「市表彰式」記念品のペーパーウェイト	総務課
	口座振替キャンペーンプレゼント用のエコバック (400 部)	税務課

	移住フェア出展時に配布したノベルティにロゴマークのシールを貼付	企画政策課
	広島カープとのコラボミニタオルを、プロ野球の試合会場で配布（2,000部）	シティセールス課
	観光PR用ビニール袋（20,000部）、ポケットティッシュ（10,000部）	
	反射材リストバンド（3,000部）、反射材ストラップ（3,000部）、反射材タスキ（1,000部）	市民生活課
	消費者相談啓発用のクリアファイル（1,000部）	
	「優良勤労者表彰式」記念品のペン立て	商工労働課
看板にロゴマークを使用	スマイルシティの看板（市役所本庁舎正面玄関の県道沿い）	総務課
	「子育ていいね！スマイルシティ山陽小野田」の看板（スマイルキッズ敷地南側）	子育て支援課
	「かがく博覧会」会場入口の看板	教育総務課
事業でロゴマークを使用 	原動機付自転車（50cc以下）のオリジナルナンバープレート（200枚）	税務課
	公用車にマグネットシートを貼付	財政課
	広告付年賀はがき（50,000部）	シティセールス課
	食育ランチョンマット（200部）	健康増進課
	公用車の車体塗装	市民生活課
	公用車に「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」をイメージしたイラストのマグネットシート（縦50cm×横70cm）、ロゴマークのマグネットシート（縦35cm×横60cm）を貼付	福祉指導監査室
	プレミアム付商品券事業の取扱店ステッカー（298部）、商品券（246,990部）	商工労働課
	市のロゴマークと観光スポットをデザインしたマンホールを市内4箇所に設置	下水道課
	山口ゆめ回廊図書館めぐりスタンプラリーのスタンプ	社会教育課（中央図書館）

Web 等でロゴマークを使用	市公式ホームページのフロントページ及びトップページ	シティセールス課
	市公式フェイスブックのアイコン	
映像でロゴマークを使用	観光プロモーション動画（長編1本、短編5本）で使用し、「スマイルシティ」を音源で表現	シティセールス課
	市内の桜を紹介する動画	
イメージカラーを使用	市公式ホームページのデザイン	シティセールス課
	レース開催告知ポスターにて、イメージカラーの帯表示	公営競技事務所
	都市計画マスタープランの本編（300部）と概要版（1,500部）の表紙	都市計画課
	展示「広報の写真で振り返る平成30年度の山陽小野田市」の案内表示	社会教育課 (厚狭図書館)



スマイルシティの看板（市役所本庁舎の県道沿い）



広告付年賀はがき



スマイルシティをイメージしたマグネットシート



プレミアム付商品券

・ロゴマークの活用（市役所以外使用 承認分）

取組内容	実施主体
総会資料	SOS かたつむりで行こう会
健康増進計画推進委員会のスタッフジャンパー	
「第 10 回 SOS 健康フェスタ」のパンフレット、缶バッジ、かたつむりラリー（会場内掲示用）	
会員用のポロシャツ	
名刺	山陽商工会議所青年部
「第 5 回アースデイ in 山陽小野田市～あの日を忘れない～」のポスター、チラシ	アースデイ in 山陽小野田市 実行委員会
のぼり旗	山陽更生保護女性会
オリジナルTシャツ（行員用）	山口銀行西ノ浜出張所
会長の名刺	山陽小野田観光協会
宇部日報への協賛広告	
観光案内看板	
自主事業「沖縄の心の響き」のポスター、チラシ	山陽小野田市文化協会
花壇の立て看板	須恵花いっぱい会
「SOS 健康フェスタ」のスタッフTシャツ、ハイハイレース参加者用Tシャツ	SOS かたつむりで行こう会 スマイル部会
山口県 PTA 連合会研修大会のチラシ、パンフレット	山陽小野田市 PTA 連合会
のぼり旗	山陽小野田市食生活改善推進協議会
I LOVE SANYO-ONODA2019 スマイル・ハロウィンパレードの会場装飾（紙コップのランタン）	一般社団法人小野田青年会議所
反射材リストバンド、反射材タスキ	山陽小野田市交通安全対策協議会
第 39 回山陽小野田市高校サッカーフェスティバル参加賞のトートバッグ	山陽小野田市体育協会
会報誌「ぼすい」	山口県母子保健推進協議会
宇部日報「令和 2 年元旦号（山陽小野田版）」の表紙	株式会社宇部日報社小野田支社
「山口東京理科大×wakayama アコースティックライブ」のポスター、チラシ	コミュニティカフェ wakayama

「山口県手をつなぐ育成会山陽小野田市大会」参加者のイエローリボン	特定非営利活動法人山陽小野田市手をつなぐ育成会
会報誌「へそのお」	山陽小野田市母子保健推進協議会
総会の資料	
キャッシュレス決済利用促進のペナント、シール、クリアファイル	小野田商工会議所
工事現場の仮囲い	有限会社アシスト
Facebook のプロフィール画面、ネットショップ	個人



観光案内看板



スマイル・ハロウィンパレードの会場装飾（紙コップのランタン）



ロゴマークと市内の観光地をPRした工事現場の仮囲い

4. ワークショップ、市民との意見交換会等

①みんな de スマイルトーク

協創によるまちづくりを推進するため、市民を対象に、まちづくりにつながる意見やアイデアを共有する目的の意見交換会を、昨年度に引き続いて開催した。(令和元年度は「女性」をテーマとして実施)



日付	対象団体	参加者数
令和元年 8月 2日	F Mサンサンきらら	12人
令和元年10月 4日	消費者の会	8人
令和元年10月23日	食生活改善推進協議会	11人
令和元年11月 8日	タンポポの会	10人
令和2年 1月29日	母子保健推進協議会	9人
令和2年 1月30日	連合女性会	10人

②スマイルランチトーク

協創によるまちづくりを推進するため、山口東京理科大学の学生を対象に、まちづくりにつながる意見やアイデアを共有する目的の意見交換会を開催した。



日付	対象	参加者数
令和元年 6月 4日	学友会	7人
令和元年 7月22日	クラブ・サークル部長	5人
令和元年11月15日	留学生	10人

③若者会議

本市の地域資源の発掘や魅力の発信について、若者の視点から提案をもらい、市の事業に反映させるため、若者会議を設置して開催した。

メンバーには、小野田青年会議所、小野田商工会議所、山陽商工会議所、山口東京理科大学、市職員の中から、18歳以上30歳未満のまちづくりに意欲のある若者16名が集まり、「スポーツ」をテーマに設定して意見交換や議論を進めた。

会議では、自由な雰囲気の中で、若者らしく固定観念に囚われないアイデアを出してもらうことを重視し、実現の可能性や経費、実施主体等は意識せず、「どうあったら良いか」を中心に、市への提案をまとめ、令和2年3月、市長へ提出した。



日付	場所	内容
令和元年 8月19日	山口東京理科大学	会議の趣旨、スケジュール説明、自己紹介等
令和元年 9月14日	維新みらいふスタジアム (山口市)	レノファ山口FC対愛媛FC(山陽小野田市サンクスデー)PRイベントに参加、試合観戦
令和元年12月 1日	県立おのだサッカー交流公園	パラサイクリングキャンプ交流事業(パラサイクリング体験・〇×クイズ)に参加
令和元年12月19日	山口東京理科大学	会議の意見、提案集約

5. フード、グッズ等の作成及び活用

①PRロゴマーク缶バッジ

イベント等において、ロゴマークを使用した缶バッジの製作体験を実施した。また、来庁者や視察等での来訪者に配布し、PRツールとして活用した。



②PRロゴマークピンバッジ

シティセールス課の窓口で販売する(1個200円)とともに、スマイルプランナーの新規登録者に配布した。



③職員用ネクストラップ

PRロゴマーク及びイメージカラーである「オレンジ」を用いたネクストラップを職員及び議員が使用した。

④職員用名刺

職員一人ひとりがシティセールス推進員としての自覚を持ち、日頃の業務を通じてシティセールスに取り組むために作成した統一デザインの名刺を、職員各自で作成した。

⑤のぼり旗

ロゴマーク及びイメージカラーをPRできるのぼり旗を本庁舎内6か所、出先機関7か所に常設している。

⑥記者会見用バックボード

PRロゴマーク及びイメージカラーを用いたバックボードを、記者会見やイベント等で活用した。



・PRロゴマークに関連する備品の活用

備品の保有数及び活用件数(令和元年度)は以下のとおり。

備品の名称	保有数量	活用件数
ベスト	100着	17件
ダブルクロス	1枚	5件
のぼり旗	20本(2種×10本)	43件
バックボード	1台	43件
缶バッジ製造機	2台	11件
缶バッジ用台紙カット機	1台	11件

6. フェスティバル、イベント、観光事業等（例示）

①ハロウィンイベントの開催（スマイルハロウィンさんようおのだ2019）

本市のイメージカラー「オレンジ」と親和性が高く、若者に人気のハロウィンに着目し、官民一体となって本市の魅力をPRするイベント「スマイルハロウィンさんようおのだ2019」を、令和元年10月の1か月間にわたって初めて開催した。このイベントは、これまで市のPRなど、まちづくりにあまり関心を持っていなかった若者の力も総動員して、本市がどんなに魅力的な人や物、場所があるまちなのかを強力にアピールしていく「観光・交流の風土」を定着させるきっかけ作りを目的として開催した。実施主体は、市や若者団体、経済団体、大学生等で構成する実行委員会。

メインイベントとして、10月20日におのだサンパークにおいて開催した「スマイル・ハロウィンパーティー」の来場者数は、約2万6千人。スタッフとして参加した市民の数は、山口東京理科大学の学生75人を含む136人であった。

また、10月の1か月間、市内各地でハロウィンを盛り上げるために様々なサービスを実施する「スマイル・オレンジフェア」を開催し、参加事業所が101か所、それらで提供されたサービスの利用件数が4,256件であった。



②レノファ山口を契機とする取組

【交流事業】

県立おのだサッカー交流公園で開催された「トレーニングマッチ」に合わせたファン感謝イベントの開催や、維新みらいふスタジアム（山口市）で開催された「サンクスデー」における市PRブースの出展等を実施した。また、市内6園の幼稚園・保育園を選手が訪問する園児とのスポーツ交流や、市内小学生との交流イベント、スマイルキッズでの運動教室等、合わせて13回実施した。



【のぼり旗・横断幕】

レノファ山口を応援する機運の醸成と「レノファに会えるまち山陽小野田市」をPRするため、市役所等の公共施設やJRの駅等に横断幕やのぼり旗を設置した。



③パラサイクリングを契機とする取組

パラサイクリング日本ナショナルチームのキャンプを、山陽オートレース場で2回実施した。また、キャンプの開催に合わせて、山陽オートレース場の走路内でファンサービスを行う「特別見学会」を初めて開催するなど、市民との交流事業を開催した。



広報紙でパラサイクリング特集記事を掲載



【キャンプ期間及び参加選手・スタッフ数】

キャンプ期間				参加選手・スタッフ数
平成31年	4月	5日～	13日	13人
令和	元年	11月25日～	12月2日	13人

【交流事業】

イベント名	開催日	場所	参加者数
特別見学会	平成31年 4月 6日	山陽オートレース場	57人
人権教育講演会	令和元年11月28日	埴生小学校	125人
サビエル高等学校 タンデム自転車 体験試乗会	令和元年11月30日	山陽オートレース場	8人
スポーツ少年団 駅伝大会	令和元年12月1日	県立おのだ サッカー交流公園	378人



【タンデム自転車体験試乗会】

山陽オートレース場で「タンデム自転車体験試乗会」を初開催し、計3回実施した（令和元年8月31日、9月7日、10月5日）。参加者は、パラサイクリングや、タンデム自転車の構造、交通ルールについて学んだ後、レース場の走路内でタンデム自転車を試乗。車体のバランスを取ることに苦戦しながらも2人で風を切って走る疾走感と一体感に、参加者は笑顔を見せていた。また、「江汐公園秋のふれあい祭り」「厚狭秋祭り」「スポーツ少年団駅伝大会」の各イベント会場でも、タンデム自転車の体験会を行った。



④観光事業

【山陽小野田市観光振興プランの策定】

これまでの観光行政の指針となる「山陽小野田市観光振興ビジョン」と「山陽小野田市観光振興アクションプラン」を引き継いだ「山陽小野田市観光振興プラン」を令和2年3月に策定。計画期間を令和2年度から7年度までの6年間とした。

目的：本市に関わる全ての人々が誇りと愛着を持つことができる活力に満ちたまちの実現に寄与すること

基本戦略：(1) 魅力ある観光地づくりの推進 (2) 情報発信・PRの充実 (3) 推進体制の充実とホスピタリティ向上 (4) 広域連携を活かした観光地としてのステージアップ

【産業観光バスツアーの実施】

宇部市・美祢市とともに産業観光推進協議会を組織し、市内で催行する産業観光バスツアーについて、企画・運営することにより、交流人口の増加と訪問先地場産業の振興を図る。令和元年度は、9回催行し、182人がツアーに参加した。

【旅行会社を対象とした商談会及び営業キャラバンへの参加、モニターツアーの実施】

商談会及び営業キャラバンへの参加を通じて、全国に向けた効果的な広報活動を行い、観光振興を図った。また、韓国の旅行業者等に向けたモニターツアーを実施した。

⑤わがまち魅力発信隊

令和元年5月11日、マツダスタジアム（広島市）で行われたプロ野球「広島カープ対DeNAベイスターズ戦」にて、ふるさと納税返礼品等、市の魅力を来場者にPRした。大型ビジョンでは、15秒間の市のPR動画を放映。ライト側のかば広場では、市の特設ブースを設置し、観光PRグッズを配布したほか、市の名産品等を販売。ふるさと納税返礼品の試食配布、ガラポン抽選会、きららガラス未来館の万華鏡製作体験等も行われ、多くの人々が訪れていた。



7. 市役所によるその他の取組

取組内容	担当課
新年互礼会にて、市内産のお菓子（せめんだる、ありがとうパイ、オートまんじゅう）を配布	総務課
山口宇部空港にて、くぐり岩をメインにしたPR画像を、電照看板・横断幕・デジタルサイネージに掲出	企画政策課
「男女共同参画の日」講演会にて、会場をハロウィングッズや生花等でオレンジ色に装飾	市民生活課
「江汐公園秋のふれあい祭り」にて、「スマイルハロウィンさんようおのだ2019」連携企画として、オレンジ色のものを身に着けた来園者にお菓子をプレゼント	
子育て世代で構成するプロジェクトチームと市が共同して「ベビスマフェスタ」を開催し、当日のスタッフは、全員オレンジベストを着用	子育て支援課
厚陽ふれあい文化祭にて、全園児・全職員が「スマイルハロウィンさんようおのだ2019」オリジナルソング「さんハロへGO！」のダンスを披露	子育て支援課 (厚陽保育園)
スマイルエイジングの普及啓発のため、ロゴマークを使用したのぼり旗を作成し、イベント等で掲出（195部）	健康増進課
「スマイルハロウィンさんようおのだ2019」をはじめ、市内外のイベントにブースを出展	公営競技事務所
山陽オートレース場で行われるパラサイクリング日本ナショナルチームの合宿や、地元主催イベントの協力	
オートレース選手による市内小中学校での講演	
特別G1、G1レースの優勝記念品を、きららガラス未来館西川慎講師に依頼し制作	



市観光パンフレットを、県内中学校校長会（約 150 部）、小・中教頭会（約 300 部）にて配布。毎年 4 月には、市内に転入した教職員及び新規採用教員に配布（約 60 部）	学校教育課
人権関係、家庭教育、P T A等の会議にて、市のパンフレット等を配布	社会教育課
「令和元年度山口県各市監査委員事務局職員連絡協議会」にて、市パンフレット、「せめんたる」を配布	監査委員事務局

・報道機関への情報提供

より広く情報発信する手段として記者発表を実施。令和元年度中の実施回数は 3 8 8 回（前年度比 7 増）。1 0 回以上実施した部署は以下のとおり。

部署名	実施回数
社会教育課（図書館、歴史民俗資料館を含む）	4 7 回
総務課	4 0 回
市民生活課	4 0 回
シティセールス課	3 3 回
教育総務課	3 3 回
健康増進課	3 2 回
文化振興課	2 2 回
議会事務局	1 7 回
高齢福祉課	1 1 回
人事課	1 1 回

【経営資源の確保】

1. U J I ターン等定住・移住策の実施

①転入奨励金の交付

山陽小野田市転入促進条例に基づき、転入して新たに住宅を取得した方に対して、転入奨励金を5年間交付する。奨励金額は、家屋部分の固定資産税相当額とする（都市計画税部分を除く。）。

〈平成31年度申請数 実績 374件〉

	新築住宅	中古住宅	合計
新規申請 (1年目)	65件	16件	81件
継続申請 (2～5年目)	226件	67件	293件
合計	291件	83件	374件

②U J I ターン推進・支援

U J I ターン希望者に対する相談・支援体制を整え、本市へのU J I ターンによる転入者を増やす。国のポータルサイト「全国移住ナビ」などを活用した情報発信のほか、移住交流フェアに出展し、移住希望者に関心を持ってもらえるよう働きかける。

〈令和元年度移住相談件数 実績 16件〉

〈令和元年度移住フェア出展回数 実績 2回〉

イベント名	開催日	場所
中国四国もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪	令和 元年 10月 5日	難波御堂筋ホール (大阪府大阪市)
やまぐちと津和野のんびり Life ～知る・見る・楽しむ2days～	令和 2年 1月17日 令和 2年 1月18日	東京シティアイ (東京都千代田区)

〈令和元年度地域おこし協力隊募集関連出展回数 実績 3回〉

イベント名	開催日	場所
中国四国もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪	同上	同上
第2回地域おこし協力隊合同募集セミナー	令和 元年 11月 13日	移住交流情報ガーデン (東京都中央区)
J O I N移住・交流&地域おこしフェア2020	令和 2年 1月 26日	東京ビックサイト (東京都江東区)

2. 企業誘致、創業支援の実施

①企業誘致

小野田・楠企業団地へ有限会社厚南鉄工（本社：宇部市）の進出が決定し、令和元年6月6日、市役所で進出協定調印式が行われた。当団地への企業進出は8社目。

②創業応援金の交付

「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付する。

〈令和元年度実績：2件〉

③創業支援（個別相談会、支援セミナー等の実施）

「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等を実施。また、創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップする。商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置付ける。

〈令和元年度実績：個別相談会 週2～3回開催、支援セミナー2回〉

④起業家支援資金の融資

市内で創業するための運転資金・設備資金が必要な場合に1,000万円を限度として融資する。

〈令和元年度実績：3件〉

3. サポート寄附金制度の運用

本市では、自主財源確保のため、サポート寄附金（ふるさと納税）を募っている。平成28年度から更なる自主財源の確保及び地域経済の活性化等を目的として、寄附者に対して返礼品を送付するとともに、納付方法の簡素化（クレジット払い）を行い、寄附者の寄附意欲増進や利便性拡大に努めている。

令和元年度は、返礼品の事業者数及び品目を増やす取組を行い、22事業者、99品目の増となった。

〈令和元年度サポート寄附金実績：3,563件、89,629,000円〉

〈令和元年度返礼品実績：43事業者、247品目〉

【本市のファンによるまちづくりへの参画を円滑にする仕組み】

1. スマイルプランナー登録者の募集

スマイルプランナーの登録者を確保するため、市ホームページを活用した情報発信、市民との連携機会を捉えた登録勧奨や「登録の手引き」の配布等、1年を通じて周知を行った。

2. スマイルプランナー登録者の活動支援

登録者の活動状況の周知については、市ホームページの活用や、広報紙内でスマイルプランナーを紹介するコーナーを新設し、情報発信した。また、スマイルプランナーへ市が実施する活動の情報提供（メール）を行い、市と登録者が協力して事業を実施した。



タンDEM自転車体験試乗会で、自ら参加者を募り、自転車の魅力をアピールするスマイルプランナー



レノファ山口 VS 大分トリニータのトレーニングマッチ時に開催した「ファン感謝イベント」で、市PRブースへの誘導やアンケートへの協力を参加者に呼び掛けるスマイルプランナー

3. スペシャル・スマイルプランナーの登録及び活動

本市ゆかりの著名人など、情報発信力の秀でた者として市長が特に認めた個人や団体を登録する。第1号として、本市出身のシンガーソングライターである西広ショータさんが登録された。

西広さんは、東京を拠点に全国各地でライブ活動続けるほか、「スマイルハロウィンさんようおのだ2019」のオリジナルソング「さんハロへGo!」を制作。メインイベント「スマイル・ハロウィンパーティー」でライブを行うなど、本市の魅力発信におおいに貢献。

また、市の応援ソング「スマイルシティ」を制作し、市内各所で撮影したミュージックビデオを YouTube で公開するなど、音楽活動による情報発信に加え、SNS や全国各地でのライブ活動を通じて本市の魅力を発信している。



登録証を受け取る西広ショータさん

Ⅲ 取組の成果・効果

1. 指標の達成状況

指標名	平成30年度	令和元年度	目標値	達成度
市公式HP、SNS 閲覧者数	999,159件	1,173,979件	1,060,000件	達成 110.8%
スマイルプランナー 登録数（個人）	60名	160名	前年度比増	達成
スマイルプランナー 登録数（団体）	22団体	51団体	前年度比増	達成
スマイルアップ プログラム	—	—	前年度比増	—
スマイルDI	—	—	前年度比増	—
移住相談件数	22件	16件	毎年度確保	未達成
誘致企業数	2件	1件	毎年度確保	未達成
創業企業数	26件	18件	毎年度確保	未達成
サポート寄附金 受入額	36,217,000円	89,629,000円	前年度比増	達成 247.5%

2. 成果・効果

初年度の取組を更に発展させるため、引き続き、ロゴマークとイメージカラー「オレンジ」を積極的に活用した。また、山陽小野田市ガイドブック「SO smile」や観光プロモーション動画の作成、「観光振興プラン」や「広報活動指針」の策定、ハロウィンイベントの開催等に取り組んだ結果、市民を中心にシティセールスが浸透しつつある。

特に、ハロウィンイベントの成果としては、「スマイル・ハロウィンパーティー」の来場者数が約2万6千人、スタッフとして参加した市民の数が理科大生の75人を含む136人。10月の1か月間、市内各地でハロウィンを盛り上げるために様々なサービスなどを実施する「スマイル・オレンジフェア」の取組に協力した事業所が101か所、それらで提供されたサービスの利用件数が4,256件であった。こうした数値を見ても、多くの市民に受け入れられ、官民一体となって本市の魅力をアピールしていく「観光・交流の風土」づくりのきっかけにするという初期の目的は果たしているものと評価される。

そのほか、公用車へのロゴマークシートの貼り付け、デザインマンホールやご当地ナンバープレートの作成など、シティセールス課以外のセクションにおいても積極的に市をアピールしていこうとする動きが出てきており、市職員のシティセールスの意識は高

まりつつある。

さらに、各種イベントを通じて、「スマイルプランナー」として市とともにまちを盛り上げていこうとする市民とのコラボレーションも実現しており、シティセールスが少しずつ浸透してきていると評価される。

3. 課題

シティセールスの取組について、これまで構築した制度やツールをしっかりと活用しながら定着させることが課題である。本市の魅力である「住みよさ」が、市内外の方々にきちんと「伝わる」よう、PRの手法を検討していく。そして、地域性や独自性、社会性等を加えて、人々の共感を得られるようなプロモーション活動を積極的に行い、本市の露出をこれまで以上に高めていく。また、「スマイルプランナー」を中心として、シティセールスの取組の輪を拡大しつつ、粘り強く継続していくことが課題である。

本市は、いわゆる名所旧跡も少ないことから、市内の魅力を外に発信して、観光・交流を盛んにする文化が定着しておらず、市民の関心が低い。このことは、「総合計画」策定時の市民アンケートにおいても観光・交流の振興が「関心の低い施策（満足度が低く、重要度も低い）」と評価されていることから明らかである。こうした市民性を背景に、本市ではこれまで地域の魅力を掘り起こし、市内外に対してアピールしていくことが少なかった。本市の最重要課題である「人口減少」の流れに歯止めをかけるため、目指す将来像「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」を掲げ、シティセールスを本格的に開始したが、市民がその意義や魅力を理解して、自主的・主体的に、それに続くムーブメント（外にむけての魅力の発信、観光・交流、地域製品の売込み等）を起こしていくような風土や市民性を培っていくことなしには、その効果は限定的なものとなる。このため、本市のイメージカラー「オレンジ」と親和性が高く、若者に人気のハロウィンに着目し、官民一体となってオレンジやハロウィンを演出に活かしながら本市の魅力をPRするイベントを実施することで、本市の認知度の向上や交流人口の増加、観光消費額の拡大を図るとともに、関わった全ての者に本市に対する誇りや愛着等を醸成しつつ、観光・交流分野に関わる担い手を確保するなど、「観光・交流の風土づくり」を行うことを目的として、ハロウィンイベントを開催した。初めて開催したイベントであり、改善すべき点も多くあるが、このイベントを通じて結集した若い力と情熱とを、しっかりと維持しながら、これからのシティセールス、或いは「スマイルシティ山陽小野田」の実現へ向けたエネルギーにしていきたいと考える。